

『山のトイレ事情と携帯トイレの使い方』



「高千穂峰のトイレブース」 撮影:酒井正志氏

磯野文雄

山のトイレ・環境を考える福岡協議会運営委員

立花山グリーンガイドの会副会長

(公益社団法人)日本山岳会会員(北九州支部)

(日本学術会議協力学術研究団体)日本山岳文化学会会員

(九州森林管理局長委嘱)森林保全巡視員

『山のトイレ事情と携帯トイレの使い方』

本日のお話の内容

1. 「自然保護」について

- (1) 「狭義」と「広義」の「自然保護」
- (2) 自然保護の仕組み（法律と条約）
- (3) 自然保護憲章

2. 「山のトイレ事情」について

- (1) 山のトイレ・環境を考える福岡協議会
- (2) 福岡の「3山（英彦山、福智山、宝満山）」での取り組み
- (3) 久住別れのトイレについて
- (4) 「高千穂の峰の取組み」と「携帯トイレの使い方」
- (5) 北海道の取り組み　－お手本として－

3. まとめ

- ・ 「まとめ」と「お願い（お知らせ）」

1. 「自然保護について」



「英彦山山頂付近のゴミ収集」

主催：日本山岳会北九州支部

収集物

- ・一升瓶
- ・空き缶
- ・紙屑
- ・バオトイレ清掃
- ・バイオトイレのおが屑降ろし
- ・その他

1. 自然保護について

(1) 「狭義の自然保護」と「広義の自然保護」

【自然保護】

人間による破壊や汚染から自然環境を**保全**し、また、回復させること。生物・鉱物や景観も含めて、自然本来の姿が保たれるように**保護**すること。【デジタル大辞泉】

- ・**狭義**には、特定の生物の「種」あるいは「群集」の保護をいう。しかし、自然界ではその構成要素である生物群集同士や無機的环境との間に、一定の構造や動的関係が保たれており、全体として、生態系を形成している。
- ・**広義**の自然保護は、単なる自然の放置や特定の動植物を保護することのみをさすのではなく、人間を含めた生態系の調和を保全、保護することにあると考えられている。

【ブリタニカ百科事典】

1. 自然保護について

(2) 自然保護の仕組み(法律)

①文化財保護法

第二条 この法律で「文化財」とは、次に掲げるものをいう。

(「一」から「三」号は略)

四 貝づか、(略)我が国にとって歴史上又は学術上価値の高いもの、庭園、(略)山岳その他の名勝地で我が国にとって芸術上又は観賞上価値の高いもの並びに動物(生息地、繁殖地及び渡来地を含む。)、植物(自生地を含む。)及び地質鉱物(略)で我が国にとって学術上価値の高いもの(以下「記念物」という。)

福岡県の樹木では

a 天然記念物……記念物のうち重要なもの

太宰府神社のクス、英彦山の鬼スギ、久喜宮のキンメイチク、黒木のフジ
犬ヶ岳ツクシシヤクナゲ自生地、高良山のモウソウキンメイチクなど

b 特別天然記念物…天然記念物のうち特に重要なもの

「立花山のクスノキの原始林」、「古処山のツゲの原始林」

1. 自然保護について

(2) 自然保護の仕組み(条約)

②ワシントン条約

- ・「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する国際条約」
- ・消費国と原産国が協力して、消費国の取引を規制することにより、原産国の種を保護
- ・動植物の野生種を、希少性に応じて3ランクに分類、これらを附属書I、IIおよびIIIに分けて記載
- ・1973年 アメリカのワシントンにて採択
- ・現在、176カ国が加盟
- ・付属書 I では
ジャコウジカ、レッサーパンダ、オオカミ、ジャガー、ヒョウ、ライオン、トラ、ユキヒョウ、ラッコ
カワウソ、アザラシ、ジャイアントパンダ、クジラ、スナメリ、ワラビー、カンガルー、サボテン
ラン、メキシカンマホガニー(家具や楽器に利用)など多数
- ・日本では
条約そのものには罰則規定がないため、各加盟国が独自に条約運用のための法整備を行っている。
「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」⇒ (略して)「種の保存法」

1. 自然保護について

(3) 自然保護憲章

自然は、人間をはじめとして生きとし生けるものの母胎であり、厳粛で微妙な法則を有しつつ調和を保つものである。

人間は、日光、大気、水、大地、動植物などとともに自然を構成し、自然から恩恵とともに試練をも受け、それらを生かすことによって、文明を築きあげてきた。

しかるに、われわれは、いつの日からか、文明の向上を追うあまり、自然のとうとさを忘れ、自然のしくみの微妙さを軽んじ、自然は無尽蔵であるという錯覚から資源を浪費し、自然の調和をそこなってきた。

この傾向は近年とくに著しく、大気の汚染、水の汚濁、みどりの消滅など、自然界における生物生存の諸条件は、いたるところで均衡が破られ、自然環境は急速に悪化するにいたった。

この状態がすみやかに改善されなければ、人間の精神は奥深いところまでむしばまれ、生命の存続さえ危ぶまれるにいたり、われわれの未来は重大な危機に直面するおそれがある。しかも、自然はひとたび破壊されると、復元には長い年月がかかり、あるいは全く復元できない場合さえある。

今こそ、自然の厳粛さに目覚め、自然を征服するとか、自然は人間に従属するなどという思いあがり捨て、自然をとうとび、自然の調和をそこなうことなく、節度ある利用につとめ、自然環境の保全に国民の総力を結集すべきである。

よってわれわれは、ここに自然保護憲章を定める。

自然をとうとび、自然を愛し、自然に親しもう。

自然に学び、自然の調和をそこなわないようにしよう。

美しい自然、大切な自然を永く子孫に伝えよう。

- 一 自然を大切にし、自然環境を保全することは、国、地方公共団体、法人、個人を問わず、最も重要なつとめである。
- 二 すぐれた自然景観や学術的価値の高い自然は、全人類のため、適切な管理のもとに保護されるべきである。
- 三 開発は総合的な配慮の元で慎重に進められなければならない。それはいかなる理由による場合でも、自然環境の保全に優先するものではない。
- 四 自然保護についての教育は、幼い頃からはじめ、家庭、学校、社会それぞれにおいて、自然についての認識と、愛情の育成につとめ、自然保護の精神が身についた習性となるまで、徹底をはかるべきである。
- 五 自然を損傷したり、破壊した場合は、すべてすみやかに復元につとめるべきである。
- 六 身近なところから環境の浄化や緑の造成につとめ、国土全域にわたって美しく明るい生活環境を創造すべきである。
- 七 各種の廃棄物の排出や薬物の使用などによって、自然を汚染し、破壊することはゆるされないことである。
- 八 野外にごみを捨てたり、自然物を傷つけたり、騒音を出したりすることは、厳に慎むべきである。

(昭和49年6月5日 自然保護憲章制定国民会議)

※下線は磯野が加えた。

2. 「山のトイレ事情」について



「高千穂峰の携帯トイレ回収ボックス」(高千穂河原) 撮影:酒井正志氏

2. 山のトイレ事情について

(1) 山のトイレ・環境を考える福岡協議会

山のトイレ・環境を考える福岡協議会は、今年7月7日に第10回の総会を行い、11年目に入りました。

現在の活動は、次のとおりです。

- ①久住分かれのトイレ視察（調査）
- ②山でのトイレマナー及び登山マナーの啓発
- ③清掃ハイク活動
- ④「山のトイレ協議会通信」の発行
- ⑤山の日制定記念行事
- ⑥その他（映画上映、記事掲載「のぼろ」など）

※現在会員募集中



入会のおさそい

私たちの活動は次の世代へ受け継がれていく息の長い活動で多くの人達の後押しが必要です。どうか当会の趣旨にご賛同頂き、是非ご入会されますよう、又、賛助金などのご協力をよろしくお願いいたします。

年会費

個人会員	2,000円
団体会員	5,000円

年会費等の振込先

用紙の通信欄に年会費、賛助金の種別と金額を記入ください。

郵便振替先

加入者名	山のトイレ、環境を考える福岡協議会
郵貯銀行	口座番号 01770-0-67635

山のトイレ、環境を考える福岡協議会

〔略称〕山のトイレ協議会 事務局 連絡先

〒818-0115 福岡県太宰府市内山708

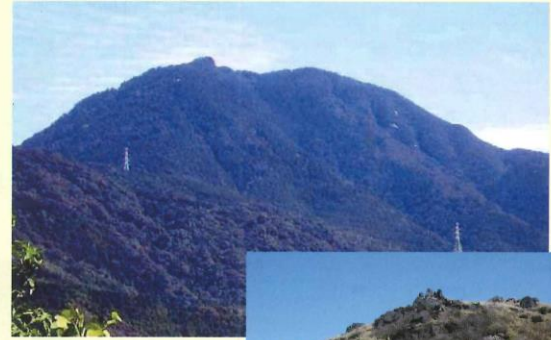
九州登山情報センター（山の図書館）内

TEL&FAX 092-928-2729

※ 当会では活動、事務局のボランティアを募集しています
あなたの想いを活動に生かしてみませんか！



山の環境を守る活動をしてみませんか!!



宝満山



福智山



英彦山

山のトイレ、環境を考える福岡協議会

主な構成団体

福岡県山岳連盟

日本山岳会北九州支部

竈門神社

アルパ九州

山の自然に学ぶ会

九州登山情報センター

日本山岳会福岡支部

福岡県勤労者山岳連盟

あだると山の会

団体会員および個人会員で会は構成されています

山のトイレ・環境を考える福岡協議会

《活動の趣旨》

森林や川には、数え切れないほどたくさんの命が息づいています。私たち一人ひとりが、日々の生活のなかで自然を感じ、共に生きている感覚を持つことが最も大切なことではないでしょうか！

近年の登山ブームにより、特定の山に多くの登山者が集中することで、自然環境が悪化している山域も見られます。

山に登るすべての方が自然への配慮を心掛けているかと言うと、いちがいにそうとばかりは云えず、登山愛好者に今「何ができるのか」

「何をしなければならないのか」が問われているのではないのでしょうか。

このようなことから、山の環境問題に関心を持つ団体が山の環境を考える組織作りが必要と考え、平成20年6月、「山のトイレ、環境を考える福岡協議会」を設立しました。

この協議会が山の自然を守る行動と自然保護に対する関心を高め、将来の子供たちに美しい自然を承していく契機になればと願っています。



トイレマナーのチラシ配布

《会の主な活動》

・山のトイレマナーの啓蒙活動

近郊の山々を中心に山開きや登山会等に参加し、トイレマナーのチラシを配布します。

・ふるさとの山 清掃ハイク

年数回実施します

・「山のトイレ協議会通信」の発行

会のイベント、情報等を会員へお知らせし、活動への参加、協力をお願いしています



清掃ハイク

携帯トイレを使ってみよう

使用法をよく読んでお使いください



*携帯トイレは山の店等で販売、種類は複数あり。価格は300円~700円程度です。

*バイオトイレは福岡県では宝満山、福智山、英彦山にあります(2015年現在)

山のトイレマナーと環境にやさしい登山を

- ・山に入る前には麓のトイレで用を足しましょう
- ・山中では設置のトイレで用を足しましょう
- ・トイレにゴミは捨てないようにしましょう
- ・公衆トイレがない山では携帯トイレを使いましょう
- ・やむを得ず山中(トイレ以外)で排泄する時は、穴を掘って埋めるなどの処理をしましょう
- ・使用済みのペーパーは必ず持ち帰りましょう
- ・花を手折ったり、盗掘は止めましょう
- ・登山時のゴミは持ち帰りましょう

登山の心構え

山岳自然をフィールドとする登山は、地形、歩行距離、標高差、体力等、四季折々においてもこの環境、条件は違ってきます。

近年、中高年者の事故が多発しております。これは自然条件、さらに登山技術、知識、経験等の不足が要因と思われるます。

登山者の力量に応じた山域と無理のない計画で、事故のない四季折々の登山を楽しまれることを願っています。



宝満山 バイオトイレ



英彦山 バイオトイレ



福智山 バイオトイレ

2. 山のトイレ事情について

(2)「福岡の3山」での取り組み

- ・英彦山は、「修験道」の山で、春は西の「宝満山」、秋は「福智山」に峰入り
- ・「修験道」とは…「修」とは努力・精進のこと、「験」とは祈祷の験（しるし）＝生きながら仏となって人々を救うこと、「道」とはそれを実践する最高の方法であること。
- ・「峰入り」とは…宿（坊）に泊まりながら、所定の行を修め、山岳を抖藪（とそう）すること。

「ちょっと寄り道」

英彦山について(英彦山の聖地構成)

	聖域名称	性格	宗教施設	禁忌
木の鳥居の上	常寂光土（仏界）	最高聖域	上宮	唾・大小便の禁
石の鳥居の上	実報巖土（菩薩界）	修行聖域	下宮・中宮・窟	牛馬、死穢の禁
銅の鳥居の上	方便浄土（声聞・縁覚界）	祈祷と生活の場	講堂・坊	産穢・出血の禁
銅の鳥居の下	凡聖同居土	俗と聖の同居の場		

①英彦山

- ・ 英彦山山頂付近には、垂れ流しのトイレがあった。
- ・ 大分県側からの苦情、さらにトイレ建物の老朽化で危険な状態に
- ・ 福岡県は英彦山上部にトイレは必要、トイレ建設資金予算を確保
- ・ 添田町に意見調整を依頼、難行挫折・・・



出典:太田 勝氏
(英彦山の環境、トイレを考える協議会)

「英彦山(福岡)上部にバイオトイレ建設に向けたその後の活動状況」

英彦山上部に登山者用トイレ建設を要望する請願(陳情)書

英彦山の自然環境を保全するため、年間20万人以上が登山する英彦山上部に登山者用トイレが必要であるという認識から、トイレを建設して下さるよう請願(陳情)します。

<理由>

福岡、大分県境に聳える英彦山は北九州の最高峰で、かつて修験道の拠点として日本三大霊山と称され、山岳宗教のメッカとして名をはせたと言われています。そして、平成8年には英彦山宗による修験道の行事が復活され、今日に至っています。

また、英彦山の自然は変化に富み、数多くの名勝史跡有する同山域は昭和25年「耶馬・日田・英彦山国定公園」に指定されています。

英彦山には近年、中高年をはじめ小中高の生徒、職場のグループなど、年間20万人以上が登山や植物、野鳥の観察などを楽しみ、保健、教育、休養などに大きな役割を果たしております。

しかし、登山者の増加に伴い、自然環境の悪化が危惧される状況となっています。

福岡県には登山者が多い人気の山が三ヶ所あり、福智山、英彦山、宝満山がそれにあたります。福智山、宝満山においては山頂直下にバイオトイレが設置され、綺麗なトイレとして利用者に喜ばれています。しかし、英彦山上部にはトイレがなく、排泄物が山中に放置されている現状があり、この対策が急務となっています。

登山口にはトイレが設置されているところもありますが、登山コースによって歩行時間も違い、また、登山者自身の体調や個人差などから、排泄を余儀なくされる場合も少なくありません。これらにより、山麓の水質汚染という深刻な事態をも招きかねません。

英彦山について、専門的な知識を持っているわけではではありません。ただ、英彦山には遠い昔から祖先が歩いた神の山、霊山、歴史の山であるという認識はあります。

だからこそ、英彦山の自然環境が汚染されることを、極力くい止めなければならないと強く考えているところです。私たちも自然保護思想の高揚に向けた活動を今後よりいっそう強化していく所存です。

どうか以上のような実情をおくみ取りの上、英彦山上部に登山者用トイレを建設して下さいますようお願いするものです。

平成24年 月 日

英彦山の環境・トイレを考える連絡協議会

英彦山のバイオトイレ

2014年5月25日英彦山(1200m)に待望のバイオトイレが完成



英彦山の「山のトイレ」

- ・使用後、ティッシュペーパーは使用しない、使うのは備え付けのトイレトペーパーのみ。水も流さない。
- ・バイオトイレを使用する時は、使用上の注意点をよく読んで、使うこと。



②福智山

- ・ 2005年01月福智山避難小屋「荒宿荘」にてトイレ建設が決定。
- ・ 09月本年度工事目標の資材荷揚げ。（セメント525kg）
- ・ 11月建屋分基礎工事終了
- ・ バイオトイレ本体部分205kgを北九州消防ヘリにて搬入。天候不順が続き、3度目に搬入成功。
- ・ 05月基礎工事部分の再度の手直し及びセメント(150kg)荷揚げ。



出典:加藤博史氏
(英彦山の環境を考える会事務局長・筑豊山の会会長)

- 07月木材等資材の荷上げ。
- 09月建屋完成バイオトイレ設置。
- 11月バイオトイレ「山ぼうし」完成
- 12月バイオトイレメーカー「サンバイオ」納入代金支払い直後倒産・失踪。メーカーとの連絡が取れない
- ため、太田前会長はじめOB達の手探りでのメンテナンスが始まるが、臭いがひどく苦慮する。
- 2007年03月 バイオトイレメーカー「アイテックシステム」のバイオチップを採用しトイレ臭解消。
- 以降トイレ清掃協力団体以外にも、清掃に参加していただく団体や個人が5団体程増えており、トイレをきれいに保つ機運が徐々に広まっています。
- 会員以外の個人が自主的に清掃に参加していただいています。
- トイレ使用上の注意事項を無視し、食事の食べ残しやタオル等の異物をトイレ便槽内に捨てる等、心無い利用者が存在する事例も多々あります。
- 昨年5月の連休中に、大人用の紙おむつがビニール袋に入れて放置されていました。

困っています！

便槽内にビニール袋が捨てられ、装置に絡まっていました。
故障の原因になります、絶対に捨てないでください！！



ビニール袋・生理用品
弁当・カップラーメンの容器や食べ残し
ティッシュペーパー・トイレトペーパーの芯

③宝満山

- ・ 大便を山中に埋めていることに、後ろめたさを感じながら40年間
- ・ 平成19年6月に「山のトイレを考えるフォーラムin福岡2007」が開催
- ・ 西鉄創立100周年の記念行事の一環として、全額出資のバイオトイレ建設を承認
- ・ バイオトイレ建設は、平成20年6月10日より、西鉄山友会会員等が協力し、平成20年8月3日に完成しました。8月5日より使用を開始



出典:伊藤博紀氏
(西鉄山友会 会長)

「福岡県・宝満山キャンプセンターバイオトイレの現況」

(3)久住別れのトイレについて



(3)久住別れのトイレについて



山のトイレをキレイに使い隊運動の実施結果について



Tweet



いいね!



印刷用ページを表示する

掲載日: 2017年11月28日更新



平成29年度山のトイレをキレイに使い隊運動について

阿蘇くじゅう国立公園内にある「久住山」への登山ルートである「久住分かれ」において、自然環境に配慮したトイレを平成16年度に改築しました。本トイレは、牧ノ戸登山口から約2時間の山岳地にある避難小屋に併設されたもので、多くの登山者・観光客に利用されています。また、利用者の協力金により維持されており、定期的に清掃を行っています。今回、マナーを守りトイレをキレイに使っていただくよう啓発を行うとともに、登山客に協力をいただきながら水を現地まで運ぶことで、トイレの徹底清掃を行うことを目的として、本運動を実施しました。

実施日時

平成29年11月23日(木曜日)(勤労感謝の日) 8時00分～12時00分

実施内容

(1)「久住分かれ」トイレの利用方法等について啓発

以下の内容のとおり、啓発を行いました。

(「久住分かれ」トイレの利用方法等)

- ・清潔なトイレの環境を維持するため、マナーを守ってご利用ください。
- ・本トイレは、緊急避難用のトイレです。できるだけ、登山口で用を済ませてください。
- ・本トイレは、水を循環させて水洗を行っています。トイレ利用が多い際に、水が流れにくくなる場合があります。ご了承ください。
- ・本トイレは、洗浄水凍結時(12月頃～3月頃)は、閉鎖しますので、ご注意ください。
- ・本トイレの汚れがひどい場合には、お手数ですが、大分県自然保護推進室(097-506-3022)までご連絡ください。

(2)ペットボトル運搬への協力依頼

「久住分かれ」には、トイレ清掃に利用する「水」がありません。登山者37名にご協力いただき、「久住分かれ」まで、約28リットルの水を運搬していただきました。

(3)久住別れのトイレについて

(2)ペットボトル運搬への協力依頼

「久住分かれ」には、トイレ清掃に利用する「水」がありません。登山者37名
ました。



(3)「久住分かれ」トイレの清掃

登山者に運搬いただいた「水」を活用し、トイレの清掃を行いました。



実施主体

主催：大分県生活環境部自然保護推進室
協力：環境省阿蘇くじゅう国立公園くじゅう管理官事務所
竹田市役所久住総合支所
長者原ビジターセンター

この情報に関するお問い合わせ先はこちらです

[自然保護推進室](#)
自然保護班

(3) 久住分かれのトイレについて

現状：100円を入り口で投函して利用。冬季は、水を送るパイプが凍るので、利用できない。このため、トイレ周辺が汚れている。



冬季は、この看板のとおり作動しないので、閉鎖されている。

(3)久住別れのトイレについて



久住分かれ避難小屋トイレの開放について(お知らせ)



久住分かれ避難小屋トイレ開放のお知らせ

阿蘇くじゅう国立公園内にある「久住山」への登山ルートである「久住分かれ」の避難小屋には、自然環境に配慮したトイレが設置されています。

本トイレは、冬季(12月～3月頃)の間、凍結防止のため閉鎖していますが、気候が暖かくなりましたので、開放しましたことのお知らせします。

平成31年4月12日

久住山避難小屋トイレ管理運営協議会事務局



3. 山のトイレ事情について

(4)「高千穂の峰」での取り組み

- 高千穂峰の山頂に携帯トイレを使うためのブースが、平成25年(2013年)に設置されました。
- 平成25年度に環境省九州地方環境事務所により設置され、平成26年4月1日より利用できるようになっています。
- 携帯トイレは文字通りポータブルのトイレセットで、山に残さずに使用後は自分で持ち帰るものです。
- 1セット400円～500円(各種あり)で、アウトドアショップや高千穂河原ビジターセンター、えびのエコミュージアムセンターなどで購入して頂けます。
- 使用後の携帯トイレは高千穂河原など登山口の屋外トイレ前にある回収ボックスにお入れください。
- ご家庭では燃えるゴミとして処分できます。
- 以前、高千穂峰の山頂にありましたトイレは撤去されています。



3. 山のトイレ事情について

(4)「高千穂の峰」での取り組み



参照: 北海道の取り組み 「山のトイレを考える会」のホームページから

携帯トイレとは

携帯トイレってどんなもの？

登山者自ら山を汚さないようにしよう

携帯トイレは、いろいろなものが販売されているようです。初めて使用する時は不安でしょうが、一度思い切って使ってみましょう。第1回フォーラム（2000年）の参加者で持ち帰っている人は8%、銀泉台でのアンケートでは3%でした。携帯トイレはまだまだ、認知されていません。あることさえも知らない人もたくさんいます。アウトドアショップで売っていても奥の目立たない場所に置いてあります。入り口に看板でも立てて、啓蒙する責任があるようにも思います。ゴミと同じように自分で出したウンコは自分で持ち帰りましょう。

携帯トイレ使用記（感想）集

携帯トイレハンドブック

携帯トイレの種類、山での使い方マニュアル（上のアイコンをクリック）

※携帯トイレメーカーの宣伝をしているわけでないので、ご了承ください。順次、他の製品も紹介していきます。ここで紹介しているのは（株）総合サービス様の「サニタクリーン」です

携帯トイレ（その1）



1. アウトドアショップで確か5袋入り900円で売ってました。左はCDです。



2. 右側が便袋です

参照：北海道の取り組み
「山のトイレを考える会」のホームページから



3. 便袋を広げた状態



4. さらに便袋を広げる



5. 便袋の上側をミシン目に沿って切り取る。
ウンコをした後で便袋の口を結ぶのに使う



6. 便袋を広げる。便袋を安定させるため、写真の
ように口を折り返す。そこにポットン。

参照：北海道の取り組み 「山のトイレを考える会」のホームページから



7. ウンコが入った便袋の中の空気を抜いて、5で切り取ったテープでしっかり縛る



8. 便袋を携帯用の袋に入れる。
携帯用の袋は再使用できる



9. 携帯用の袋で心配な場合は、さらに別な袋に入れる
写真は山スキー用パンツが入っていた袋



9. 高密閉チャック袋も売っている。
これに入ると臭い漏れを防げる。再利用可能な
ので回収ボックスに入れないようにしたい。

(注1) 自宅まで持ち帰った場合は、できれば紙オムツ同様に中の汚物をトイレに捨て、便袋はごみ収集袋に入れ可燃ごみとして処理してください (自治体によって異なる場合がありますので、確認が必要です)

(注2) 便袋ごと便器には、決して捨てないようにしてください。

4. 北海道の取り組み 「山のトイレを考える会」

ホームページから(1)

Welcome 最終更新日: 2019.4.5

見てください

山のトイレを考える会

2019年ヒサゴ沼避難小屋改修工事のお知らせ
2019年6月～10月末まで避難小屋、トイレ、野営指定地は使用できません！

[山のトイレデー18年間を振り返る](#) [2018年ニュースレター](#)

スマホで見る「[北海道の山トイレ情報](#)」

北海道・山のトイレマップ
[大雪山\(表大雪\)](#) [大雪山\(東大雪\)](#) [十勝連峰](#) [知床\(羅臼岳\)](#) [利尻山](#)

 **大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言** (2018.7.10)
十勝岳望岳台、高原温泉登山口にも回収BOX設置


美瑛富士清掃登山 (2004.9.5)


美瑛富士・携帯トイレブース設置 (2015.6.28)

北海道の山岳に行かれる場合は、ぜひ参考に。

スマホでも見ることができ。

北海道の山トイレ情報

山のトイレを考える会

(update:2018.6.1)

登山口にトイレはあるの?下山口に携帯トイレ回収ボックスはあるの?にお答えします!

- [北海道にある日本百名山](#)
- [北海道にある日本二百名山](#)
- [山域別トイレ情報](#)
 - (1) [大雪山](#)
 - (2) [十勝連峰](#)
 - (3) [石狩・東大雪](#)
 - (4) [道北・北大雪](#)
 - (5) [道東](#)
 - (6) [道央](#)
 - (7) [道南](#)
 - (8) [日高](#)
 - (9) [夕張・樺戸・増毛](#)
- [山トイレの実態](#)
- [山のトイレを考える会](#)


※このページは市民団体山のトイレを考える会によりボランティアで運営されています。必ずしもすべて最新の情報が反映されているとは限りません。このサイトの情報により生じたいかなる損害も当会はその責を負いません。

(since:2009.12.1)

02056

〔愛山溪温泉登山口トイレ情報〕

永山岳・愛別岳・沼の平の登山口

・登山口にトイレあり 



愛山溪温泉登山口トイレ

・登山口に携帯トイレ回収箱あり 

・山中トイレなし 

BACK

北海道の山岳トイレ情報

スマホで見る「北海道の山岳トイレ情報」

last up date:2018.7.10

北海道の主要山岳（大雪山を主体にし、その他有名な山を若干加えた）における避難小屋、野営指定地におけるトイレ状況を一覧表に示しました。

北海道が本州の山岳と大きく異なるのは、山の上に民間の営業小屋（営利目的の山小屋）が無いという事で、避難小屋と呼ばれる無人小屋が施設としてあるのみ（夏一時期例外有り）です。電気なし、水なし、そして管理人なしの山小屋がほとんどです。

平成12年に北海道が白雲避難小屋、忠別避難小屋そして平成13年にヒサゴ沼避難小屋の尿尿をヘリで搬出しました。

山岳トイレは排泄物で満杯状態！悲鳴をあげています。トイレにはティッシュを捨てないよう、トイレも汚さないように使いたいものです。

(表1) 2018 避難小屋とトイレの有無

避難小屋名称	位置	トイレ	管理者	備考
黒岳石室	黒岳南西0.8km	有	上川町 トイレは北海道	6～9月管理人常駐、管理協力金1,500円 2003年秋にパイオトイレ設置。協力金200円
旭岳石室	姿見の池に隣接	無	北海道	常設の携帯トイレブース有り
白雲岳避難小屋	白雲岳南1.0km	有	北海道	小屋はS50年建設。S60年小屋内トイレ満杯、 外にトイレ棟設置。H12年し尿搬出。 6～9月管理人常駐
忠別岳避難小屋	忠別岳南1.5km	有	北海道	S46年設置。H12年し尿搬出。
ヒサゴ沼避難小屋	ヒサゴ沼に隣接	有	北海道	S57年に設置。H13年し尿搬出
美瑛富士避難小屋	美瑛富士東1km	無	美瑛町	H7年林野庁から美瑛町へ移管 H8年に現在の小屋を建設 テント型携帯トイレブースあり
十勝岳避難小屋	十勝岳登山コース中腹	無	林野庁	H18年老朽化により解体。H20年建替え

北海道の取り組み

「山のトイレを考える会」の取り組み

北海道の山トイレリスト

夏山175座の登山口と山域のトイレ情報

北海道山岳トイレ情報

避難小屋とトイレ、野営指定地等の一覧

(考える会の紹介)

- 規約・入会案内など
- ニュースレター
- 受賞歴紹介
- 会の活動履歴一覧

(考える会の活動)

- 山のトイレデー
- 山のトイレフォーラム & 資料集
- 上記以外の活動報告

(啓発ツール)

- 山のトイレマナーガイド
- 山のトイレマップ
- 山のトイレマナー袋
- 山のトイレマナーカード

(山のトイレ問題の実態)

- ヒサゴ沼避難小屋
- トムラウシ南沼野営地
- 美瑛富士避難小屋
- 黒岳汲取り ●幌尻岳汲取り
- 羅臼岳 ●利尻山 ●子ロロ岳
- 裏加野営地 ●ニベソツ山
- カミホロ避難小屋
- やっさんのトイレ調査情報


二つのプロジェクト

美瑛富士トイレ管理連絡会

2018ブース点検パトロール終了!

トムラウシ南沼汚名返上プロジェクト

2018アンケート調査登山!

- 携帯トイレ販売店
- 携帯トイレとは
- 携帯トイレブース
- 携帯トイレ回収ボックス
- 防臭袋
- 携帯トイレの使い方 (YouTube) 

フォーラム資料集のジャンル別分類



福岡の3山の取り組みも紹介されています。

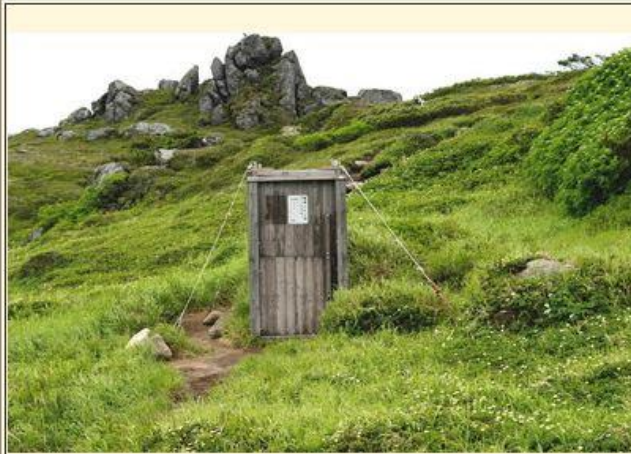
この説明を、
紹介します。



携帯トイレブースの紹介

携帯トイレブースは携帯トイレを使用する時に身を隠す場所です。
固定型ブースと簡易（テント）型があります。

固定型携帯トイレブース



トムラウシ南沼野営地のブース（1）



トムラウシ南沼野営地のブース（2）



ニベソツ山のブース（1）



ニベソツ山のブース（2）

北海道の取り組み

「山のトイレを考える会」の取り組み

頑張っている仲間の紹介

● **本**の紹介

LINK

目指せ1,000Fans

山のトイレを考える会

facebook



Name:
山のトイレを考える会
Status:
2019年大雪山国立公園
のピサゴ沼遊覧小屋の
Fans:
780

Facebookページも宣伝

使用済みのペーパーは持ち帰りましょう!

ポリ袋をいつも
ポケットに!

自分のティッシュは
持ち帰る

携帯トイレにも
チャレンジ
してみよう!



登山者自ら山を汚さないようにしましょう

山のトイレを考える会 <http://yamatoilet.jp>

様々な団体が
協力

団体会員 いつもご支援ありがとうございます!

(株)りんゆう観光 (株)総合サービス アース・ウィンド NPO法人どんごろ野外学校
悠遊クラブ 阿寒ネイチャーセンター アポイ岳ファンクラブ 日高山脈ファンクラブ
利尻山登山道等管理連絡協議会 日本山岳会北海道支部 道央地区勤労者山岳連盟
函館山の会 札幌中央勤労者山岳会 帯広勤労者山岳会

★事務局への問い合わせは[Eメール](mailto:hokkaido@yamatoilet.jp) (hokkaido@yamatoilet.jp) をお願いします。

(注) &を小文字の@に変更してください

(事務局住所) 〒004-0061 札幌市厚別区西1条2丁目3-18 小枝方

あなたは **203361** 人目の訪問者です(SINCE 2000.11.28)

RAVS-COUNTER.COM

本ページはリンクフリーです。リンクする場合はE-mailでお知らせ戴けば嬉しく思います。

また、許可なく複製、転載することを禁止します。

山のトイレを考える会」の取り組み

大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言

前文

大雪山国立公園の広大な高山帯には色とりどりの高山植物が咲き誇る美しい景観が広がり、多くの登山者を魅了するとともに、地域の誇りとなっています。

しかし、トイレがない避難小屋や野営地を中心に、し尿の散乱が大きな問題となっています。し尿を排出するため登山道以外の場所を踏みつけることで高山植物が減少し、さらに、裸地が拡大し、踏み分け道の伸張により土壌の流出も生じてしまいます。

原生的で人工的構造物の極めて少ない大雪山国立公園の自然景観を未永く保全し、登山者や地域が今後も大雪山国立公園の魅力を楽しみ続けるためには、し尿散乱問題を大規模な施設整備によって解決するのではなく、携帯トイレの活用によって解決する必要があります。

そこで、私たちは、携帯トイレを活用して、関係者すべてがそれぞれできる取組を少しずつ行うことで、し尿散乱問題を解決するため、次のことを宣言します。

本文

1. 大雪山国立公園では、携帯トイレを適切に使用することで雄大で原始的な景観と共存する登山を推進します。
2. 登山者に快く携帯トイレを使ってもらえるような環境づくりを行います。
3. 登山者に対して携帯トイレの利用を推進するための呼びかけを行います。
4. 携帯トイレの普及に協力してくれる人の輪を広げます。

平成30年7月10日

大雪山国立公園連絡協議会、旭川勤労者山岳会、旭川山岳会、上川山岳会、上富良野十勝山岳会、新得山岳会、十勝山岳連盟、美瑛山岳会、富良野山岳会、札幌山岳連盟、日本山岳会北海道支部、日本ヒマラヤ協会北海道、H A T - J 北海道支部、北海道勤労者山岳連盟、北海道山岳ガイド協会、北海道山岳連盟、北海道道央地区勤労者山岳連盟、山のトイレを考える会、大雪山国立公園パークボランティア連絡会

「大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言」を実施する ための具体的な取り組み

1. 雄大で原始的な景観と共存する登山の推進

野外し尿が周囲の自然環境へ大きな影響を与えうる水源地や脆弱な高山植生帯、または他の登山者に対して著しい不快感を与えうる野営指定地等では、携帯トイレの使用による野外し尿ゼロを目指します。

2. 環境づくり

(1) 携帯トイレブースの設置や維持管理

- ・美瑛富士避難小屋及び南沼野営指定地では、連携・協力して、取組を着実に実施します。
- ・携帯トイレブースが必要な箇所については、環境省、北海道、各市町、関係団体が相互に連携、協力して、携帯トイレブースの設置とその後の維持管理を検討します。

(2) 携帯トイレの回収体制

- ・必要箇所に携帯トイレ回収ボックスを設置することを推進します。
- ・回収ボックス維持管理体制を確認、共有し、情報を更新、公開することを通じて、回収体制を維持、強化します。

(3) 利用者向け情報発信

- ・携帯トイレの入手可能箇所、トイレマップに関する情報発信を行います。

3. 登山者への呼びかけ

登山者に対して、次の呼びかけを行います。

- ・大雪山国立公園では、携帯トイレを常に持参すること。
- ・常設トイレは適切に使用し、携帯トイレは常設トイレがない箇所で使用しすること。
- ・現にし尿散乱が大きな問題となっている美瑛富士避難小屋や南沼野営指定地をはじめ、宿泊地など登山者が集まる場所や水源地では、携帯トイレを確実に使用し、野外にし尿を排出しないようにすること。
- ・登山道の途中など問題となっていない場所でも、携帯トイレを使用し、持ち帰るよう努めること。

北海道の取り組み

「山のトイレを考える会」の取り組み

4. 輪を広げる

関係機関、団体、事業者に対して、次の呼びかけを行います。

- ・携帯トイレの普及啓発活動、利用者向け情報発信の実施に協力すること。
- ・この宣言の趣旨に賛同する、携帯トイレ普及パートナーになること。
- ・利用拠点や登山用品を扱う事業者は、携帯トイレ販売に協力すること。
- ・ガイド事業者は、自己の客に携帯トイレの使用を働きかけること。
- ・携帯トイレやアウトドア製品を製作する事業者は、利用者と協力して、より使いやすい携帯トイレの開発や、携帯トイレを快適に使えるような登山用具を開発し、販売及び普及に努めること。

5. まとめとお知らせ

「山のトイレ・環境を考える福岡協議会」について

- ・我々が、何気なく使用している「山のトイレ」であるが、これまでにご紹介した団体やメンバーの一人ひとりが、長い時間をかけて学び、**自然を守るという行動があつて現在の姿がある。**
- ・今後の課題
 - ①「バイオトイレ」の機能や大勢の利用に対する脆弱性
 - ・冬季の凍結や同時・多人数の利用に弱い
 - ②メンテナンスに関わる人々の高齢化
 - ・無給の社会奉仕活動を担う人々の減少(在って当たり前)
 - ③「バイオトイレ」に代わる、次のシステム(方法)の構築・模索
 - ・登山人口の増加、メンテナンスを担う人々の高齢化等の問題点の克服・改善
 - ・北海道や高千穂峰での取り組み
 - ・久住山系での取り組み
 - ④皆様の協力が必要です。

講演会のお知らせ

「久住のジオツーリストマップと自然保護」

— プラタモリの久住山登山と登山道の保護 —



「牧ノ戸峠から久住山のジオマップ（部分）」：横山秀司 氏

総会及び講演会のお知らせ

山のトイレ・環境を考える福岡協会の総会及び講演会を、下記の要領で行います。皆様のご参加を、お待ちしております。この講演会では、「久住のジオツーリストマップと自然保護」と題して、前九州産業大学大学院フェロー教授の横山秀司氏にお話しいただきます。

久住山系は8つの溶岩帯からなり、この特徴的な地形を、牧ノ戸峠から久住山頂に至るまでの登山道をたどりながら解説します。併せてこの登山道の自然保護についても、お話しいただきます。

記

1. 日時：令和元年7月7日（日） 14：00～総会 / 15：30～講演会（1時間程度）
2. 場所：福岡市立早良市民センター 3F 第1会議室
（福岡市早良区百道2-2-1 電話番号：092-831-2321）
3. 参加費：講演会無料
4. その他：会員以外の方も総会の見学は自由です。
5. 会員の方は、講演会の終了後に「懇親会」（会費4,000円）を開催いたします。
（参加は、自由です）
6. 問い合わせ先：山のトイレ・環境を考える福岡協会
090-9607-7556（太田） 又は、trek99@chic.ocn.ne.jp

以上

公開講座「立花山の自然」

講師：福田 勉さん・湖尻 浩子さん

主催：立花山グリーンガイドの会

立花山

新宮側の登山口には、
トイレが設けられてい
ます。

駐車場と併せて、ご
利用ください。



撮影：「白岳のカノコソウ」井上 晃 氏

公開講座のお知らせ

立花山グリーンガイドの会の公開講座を、下記の要領で行います。皆様のご参加をお待ちしております。この講座は、3回に分かれており、会長の福田勉さん・前事務局長の湖尻浩子さんをお招きしてご講演いただきます。皆様の参加をお待ちしています。

記

1. 日時等：

7月28日 【日曜日】 10：00 下原公民館	座学 散策 (公民館周辺)	「公開講座 立花山の自然(1)」 －立花山の四季 パンフレットを中心に－ ・「Nature 立花山・三日月山の自然」を配付します。
9月8日 【日曜日】 10：00 堰堤下集合	登山 (立花山)	「公開講座 立花山の自然(2)」 －登ってみよう立花山－ ・パンフレットを持参し、観察します。
11月10日 【日曜日】 10：00 下原公民館	座学	「公開講座 立花山の自然(3)」 －立花山の自然(まとめ)－ ・パンフレットを中心に、解らなかった動植物を知る。

2. 場 所：福岡市 香椎下原公民館 (福岡市東区下原1丁目4-2 TEL 092-682-6334)

3. 参加費：基本無料(資料代等100円のことも)

4. 定 員：各講座30名程度

5. お問合せ先：立花山グリーンガイドの会(磯野：090-4989-5961)宛、携帯電話又はスマートフォンのショートメールにてお問い合わせください。(氏名、出席希望、問い合わせ内容等を明記のこと)

以上

ご清聴ありがとうございました。

